

行政視察報告書(2)

平成30年 8月 20日
会派名 糸魚川21クラブ
代表者名 田原実
報告者名 田原実

当会派は、下記のとおり視察したので、報告いたします。

記

1、視察議員名
田原 実

保存年限	永・10・5	3・1 年	文書番号	8 - / - 0	
<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 / <input type="checkbox"/> 不開示(理由: 条例第 条第 号 該当)					
<input type="checkbox"/> 時限不開示 (開示: 年 月 日)					
議長	副議長	局長	次長	係長	係

2、視察期間
平成 30年 7月 11日 (水) から
平成 30年 7月 13日 (金) までの3日間

3、視察先
1、東京新宿区 (早稲田大学大隈記念講堂大講堂)
2、①東京都三鷹市 (三鷹中央防災公園元気創造プラザ)
②東京都江東区 (江東区立豊洲西小学校)

4、視察目的と概要
1、全国地方議会サミット2018「議会のチカラで日本創生」出席
2、室内プール施設 (建築、可動床、他) 調査

<スケジュール>

7月11日 糸魚川発 7:04 新幹線 大宮着乗り換え
早稲田着 12:00
研修 13:00~17:30 全国地方議会サミット1日目
*宿泊 コンフォートホテル東京清澄白河

7月12日
研修 9:00~16:00 全国地方議会サミット2日目
*宿泊 東横イン東京八王子北口

7月13日
調査 10:00~15:30 *都内移動 タクシー、電車
① 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ SUBARU 総合スポーツセンター内
25mプール8コース、5コースと3コースそれぞれに可動床設置
② 江東区立豊洲西小学校内プール・トレーニング室
東京発 16:32 新幹線
糸魚川着 18:48



5、レポート&写真

1、全国地方議会サミット 2018「議会のチカラで日本創生」について

「全国地方議会サミット 2018 議会のチカラで日本創生」は、議会改革の本気で取り組んでいる全国の地方議会議員 1000 名超が政治のパワースポットに集結。多様なプログラムと充実の講師陣・・・学び、気付き、感動の 2 日間でした。

特に、「地方創生時代に求められる議会力」の江藤俊昭山梨学院大学教授のまとめ、議会改革を直球勝負ですすめる 4 名の議長のディスカッション、女性議長 3 名のディスカッション、北川先生の始めと終わりのあいさつとうったえ。何度もうなずきながら聞き、こころ震えました。

このサミットで得たものを市民のために！これから糸魚川市議会で、やります！議会改革。

7月11日（1日目）

【基調講演】

「地方議会から日本を変える」北川正恭早稲田大学名誉教授

【特別講演】

「地方創生の展望」野田聖子総務大臣代理 政務次官

【講演、ディスカッション】

「真の地方創生とは何か」

片山善博早稲田大学教授/大西一史熊本市長/北川正恭早稲田大学名誉教授

【課題整理】

「地方創生時代に求められる議会力」江藤俊昭山梨学院大学教授

【パネルディスカッション】

「議会力強化のための、議会事務局の変革」小林宏子東京都羽村市議会事務局長/清水克士滋賀県大津市議会局次長/千葉茂明月刊『ガバナンス』編集長

7月12日（2日目）

【先進事例報告①】

「地方創生をリードする議会へ」

目黒章二郎福島県会津若松市議会議員/子籠敏人東京都あきる野市議会議員/ピアンキ・アンソニー愛知県大山市議会議員/川上文浩岐阜県可児市議会議員/廣瀬克哉法政大学教授

【先進事例報告②】

「政策を実現する議会へ」尾崎大介東京都議会議員/松本研横浜市会議長

【講演】

「海外の議会制度から議会の多様性を考える」中林美恵子早稲田大学教授

【パネルディスカッション】

「多様性ある議会に向けた実践と課題」本間まさよ東京都武蔵野市議会議員/岩永ひさか東京都多摩市議会議員/白川静子神奈川県茅ヶ崎市議会議員/南千晴群馬県榛東村議会議員/中村健早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

【提言、総括】

政策型選挙の実現に向けて

サミットプログラムの合い間には秋の『稲門祭』のツアーが実現すれば・・・と考えながら早稲田大構内を散策。相馬御風作詞早稲田校歌の石碑、会津八一記念館、演劇博物館、早稲田歴史館とみどころ満載です。

*2018年7月20日ローカルマニフェスト議員連盟ホームページより

「全国地方議会サミット2018」を開催！総勢1030名が参加しました。

2018年7月11日～12日、早稲田大学大隈記念講堂大講堂（東京都新宿区）にて「全国地方議会サミット2018 議会のチカラで日本創生」を開催しました。当日は、北海道から沖縄まで、全国の議会関係者を中心に1030名が参加しました。

今回はこれまで毎年「マニフェストサミット」として開催していた100人規模のイベントをバージョンアップし、先進的な議長等を集め議会全体から地域を変えていくことを発信するため「全国地方議会サミット」として初開催したものです。少子高齢化、人口減少、災害の多発など、深刻な課題が自治体に次々突き付けられるなか、2日間に渡って、重要な議決権をもつ議会のあり方について本気の議論を行いました。

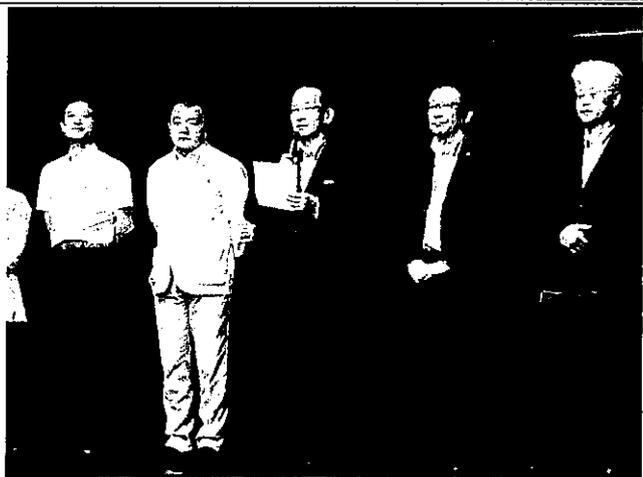
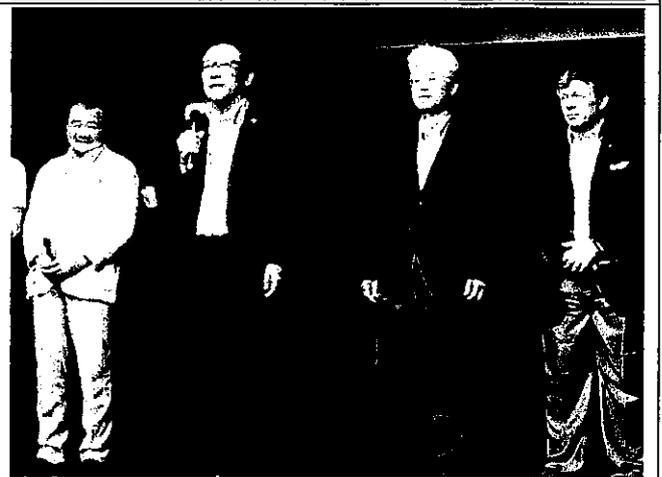
イベントの中では、主催団体であるローカル・マニフェスト推進地方議員連盟の新共同代表と新しい方針も発表され、今後の地方組織の充実や議会局・議会事務局ネットワークの展開についても発表されました。また、直前の西日本豪雨災害の対応により来場できなかった方が多数いらっしゃいましたが、改めて議会としての危機管理や広域での災害対策のあり方についても呼びかけが行われました。

「全国地方議会サミット」は来年も開催します。今回のイベントが単に話を聴くだけの研修会にとどまらず、議会の立ち位置を変える場面転換の場になり、全国で議会からの地方創生が具体的にひろがっていくことを期待します。参加者が一つでも多く自身の議会で改革を実践し、皆で地域と自治の底上げを行い、来年また再会することを誓って閉会しました。

<http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/news/2018072000017/>

写真





2、室内プール施設（建築、可動床、他）調査について

／新しい多用途プールの見学と専門家からのヒアリング

東京都三鷹市の複合施設内プールと台東区の学校内のプールを見学して関係者のお話を聞いてきました。いずれも可動床（かどうしょう）が採用されており、多用途に使えるものとなっています。今現在、糸魚川市で計画しているプールは泳用 25mプールの水深を 1.1m 固定とし、飛び込み禁止としています。ただ、東京で見学したプールは水深 1.3m や 1.4m とすることもでき、飛び込み練習と 25m のタイム測定ができるものとなっています。また水深 1.3m のレーンで高齢の女性グループの利用がありました。

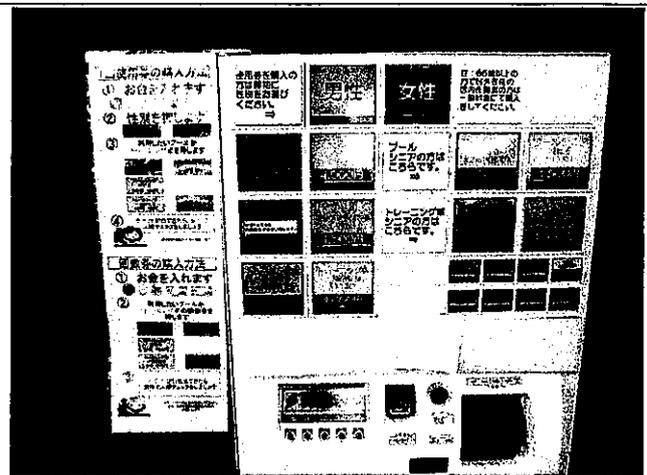
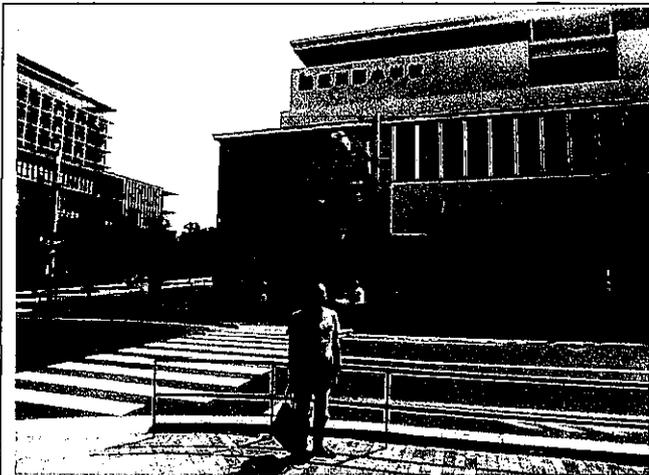
田原は担当委員会の委員長として、プール事業費 10 億円超の予算におけるさまざまな利用の可能性を検討するなかで、市民、行政、議会で十分に意見交換して合意形成があり、かつ話し合われたことや計画決定までのプロセスを市民に公開していくことが必要であると考えています。

このプール建設計画、そして運営計画には議員や市民の意見を反映するよう委員会で行政に対して話をしていますが、プール利用の専門的な知識や経験から糸魚川の将来を見た計画が形になり、市民の多くの方から喜ばれ、かつ苦情が出ないものとなるよう、これからの委員会を運営してまいります。

今回の会派政務調査ではプールの水深や利用方法を検討すると同時に、天井スラブから RC の梁が表して出ている様子や観覧席の状況や身障者向けの対応などを見ることができ、たいへん参考になりました。南砺市福光のプールを委員会でも見学調査しましたが、事例は 3 か所以上みて比較検討しないと、当市で進める計画が良いのか、悪いのかわかりません。時間切れを理由に市民の大切なお金が活かされていない、ということのないようにしたいと思います。

写真

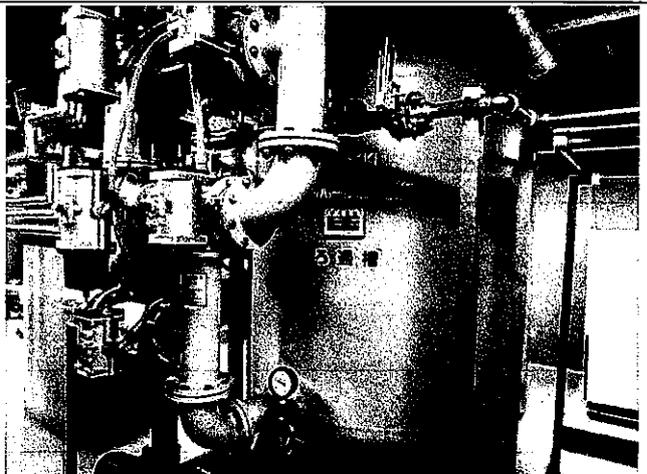
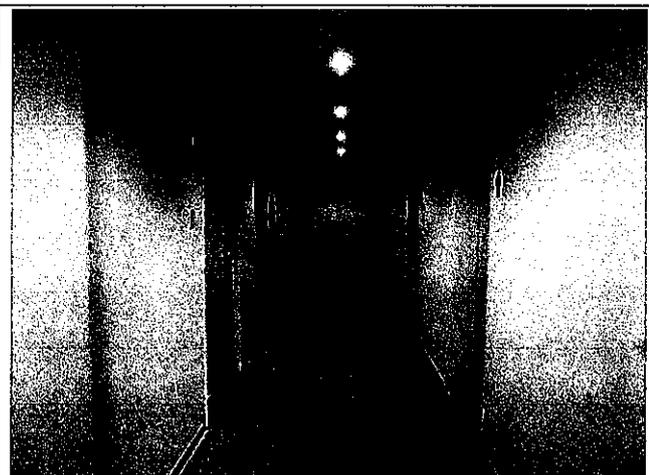


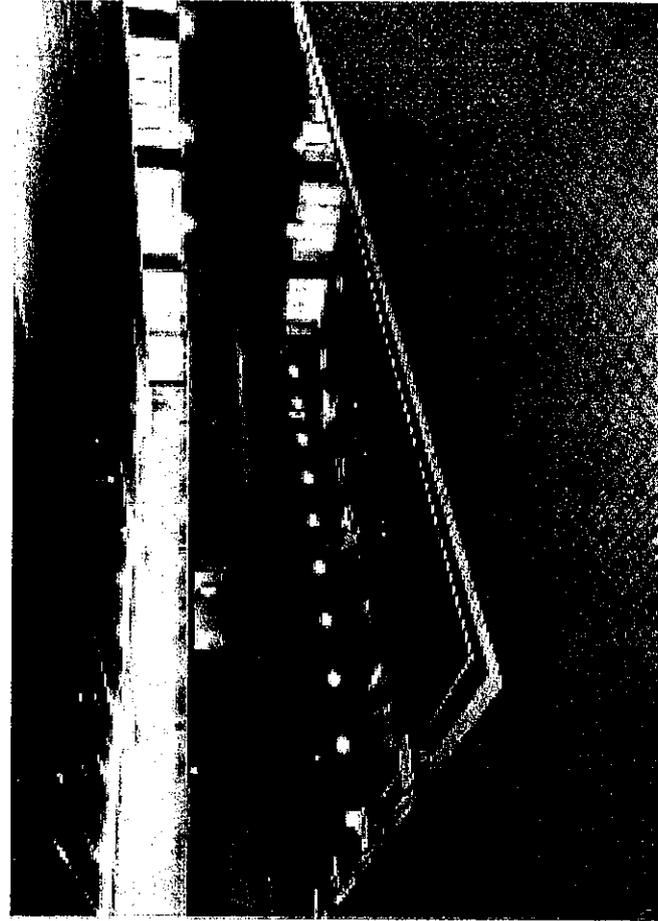


利用料金表<プール>

利用料金	一般	中学生以下	3歳以下 (65歳以上)
入場券 (2時間)	400円	150円	150円
遊泳料金 (1時間ごと)	200円	75円	75円
入場券 (1日券)	4,000円	1,500円	1,500円
1か月 定額券	3,500円	1,500円	1,500円
3か月 定額券	9,500円	4,000円	4,000円
6か月 定額券	16,500円	6,900円	6,900円

※入場券・定額券・在学中の学生は別途あり。





2015.2.完成：東京都江東区立豊洲西小学校 プール施工写真